

「2024大戸川ダムフェス」の様子

▼音楽ステージ▼



龍谷大学吹奏楽部



滋賀学園高校ジャズオーケストラ



NPO法人大津ジャズフェスティバル



黄瀬宮農組合
〔地元特産品の販売〕



金兵衛ファーム（上田上自治連）
〔地元特産品の販売〕



牧女性会「ブーケ」
〔お講汁・田上米おにぎりの販売〕

▲ダム上・下流地域から出展いただいたブース▲

～「2024大戸川ダムフェス」を開催しました～

11月24日(日)、大鳥居骨材置場にて、「2024大戸川ダムフェス」を開催しました。これは、一般の方に事業区域の雰囲気を感じてもらい、感じたことや今後大戸川ダムに望むことなどを聞き取り、ダム周辺整備やダムをきっかけとした周辺地域の活性化の検討の参考にするための社会実験として、昨年に引き続き実施したものです。

当日は、周辺地域の皆さんに加え、県内外からも大勢の方にご来場いただき、一般来場者・スタッフ等関係者合わせて前回は上回る約600名の参加で賑わいました。

令和6年度事業実施予定位置図

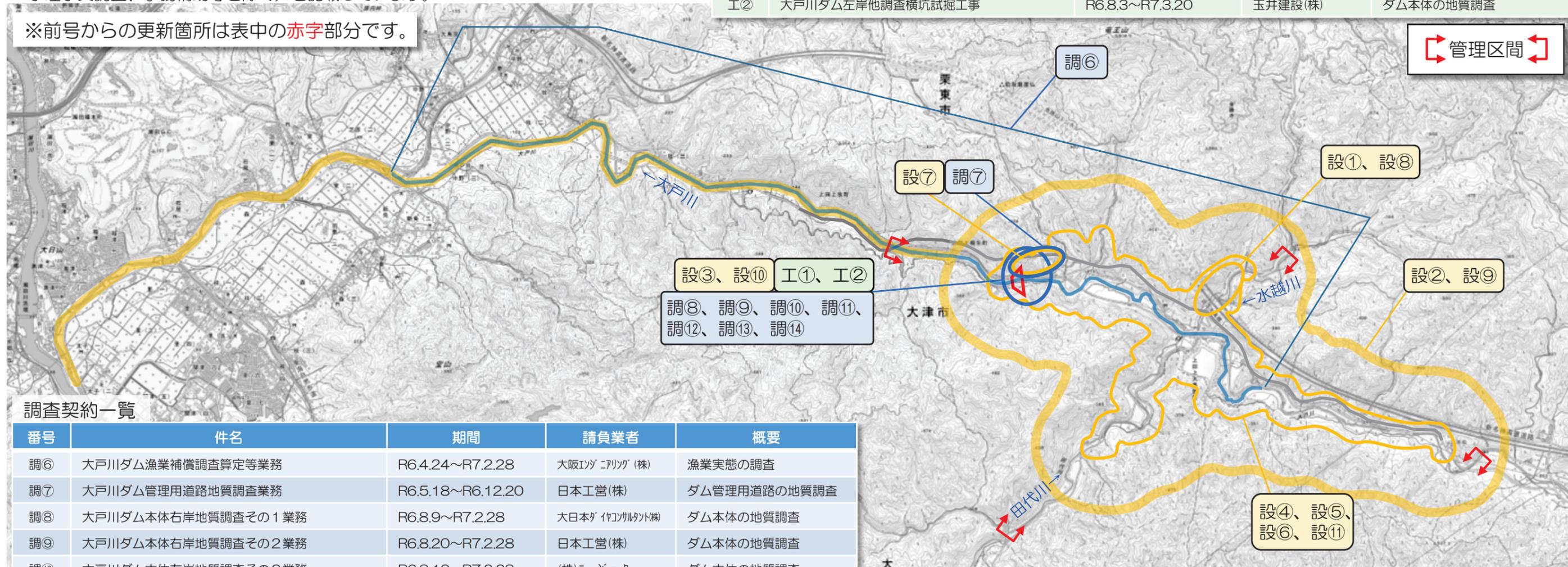
※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。

(R6.11.30時点)

※前号からの更新箇所は表中の赤字部分です。

工事契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事	R6.5.14~R7.2.28	(株)広川組	ダム本体の地質調査
工②	大戸川ダム左岸他調査横坑試掘工事	R6.8.3~R7.3.20	玉井建設(株)	ダム本体の地質調査



調査契約一覧

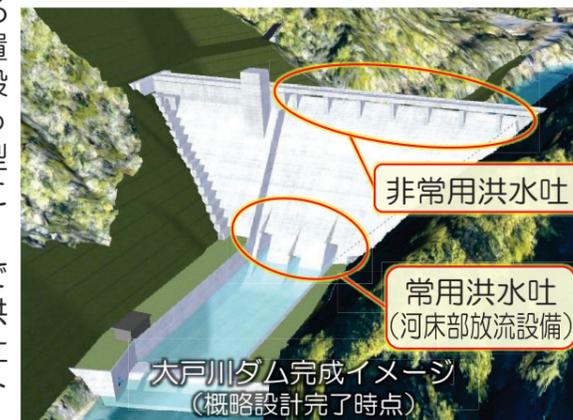
番号	件名	期間	請負業者	概要
調⑥	大戸川ダム漁業補償調査算定等業務	R6.4.24~R7.2.28	大阪エゾ・アリアツ(株)	漁業実態の調査
調⑦	大戸川ダム管理用道路地質調査業務	R6.5.18~R6.12.20	日本工営(株)	ダム管理用道路の地質調査
調⑧	大戸川ダム本体右岸地質調査その1業務	R6.8.9~R7.2.28	大日本ガイコンサルタント(株)	ダム本体の地質調査
調⑨	大戸川ダム本体右岸地質調査その2業務	R6.8.20~R7.2.28	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調⑩	大戸川ダム本体右岸地質調査その3業務	R6.8.10~R7.2.28	(株)ニューゼック	ダム本体の地質調査
調⑪	大戸川ダム本体右岸地質調査その4業務	R6.8.20~R7.3.25	川崎地質(株)	ダム本体の地質調査
調⑫	大戸川ダム本体右岸地質調査その5業務	R6.9.13~R7.4.30	(株)ニューゼック	ダム本体の地質調査
調⑬	大戸川ダム本体河床部地質調査業務	R6.9.12~R7.4.30	大日本ガイコンサルタント(株)	ダム本体の地質調査
調⑭	大戸川ダム本体左岸地質調査その2業務	R6.9.14~R7.4.30	(株)建設技術研究所	ダム本体の地質調査

設計・検討契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム栗東信楽線北部道路詳細設計業務	R5.5.2~R6.12.27	中央復建コンサルツ(株)	付替県道栗東信楽線の設計
設②	大戸川ダム環境影響とりまとめ業務	R5.7.27~R6.12.20	日本工営(株)	環境影響のとりまとめ
設③	大戸川ダム水理検討業務	R6.2.1~R7.3.21	国立研究開発法人土木研究所	ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設④	大戸川ダム実施設計業務	R6.3.5~R7.3.25	(株)ニューゼック	ダム本体の詳細設計他
設⑤	大戸川ダム地質とりまとめ業務	R6.3.9~R7.2.10	(株)ニューゼック	地質調査結果のとりまとめ他
設⑥	大戸川ダム地域振興検討業務	R6.4.16~R7.3.14	(株)オインテリコンサルツ	事業用地利活用検討
設⑦	大戸川ダム管理用道路詳細設計他業務	R6.5.21~R7.6.27	(株)オインテリコンサルツ	ダム管理用道路の詳細設計
設⑧	大戸川ダム栗東信楽線北部道路落石対策工他詳細設計業務	R6.5.8~R7.5.9	(株)イト日本技術開発	落石対策、トンネル設備の詳細設計等
設⑨	大戸川ダム環境調査結果とりまとめ業務	R6.6.19~R7.2.28	日本工営(株)・(一財)水源地環境センター	環境調査結果のとりまとめ
設⑩	大戸川ダム基礎岩盤特性解析業務	R6.10.19~R7.7.31	(株)ニューゼック	ダム本体の地質解析
設⑪	大戸川ダム本体修正設計業務	(契約手続中)		ダム本体の詳細設計他

【コラム】ダムの設備① ~洪水吐~

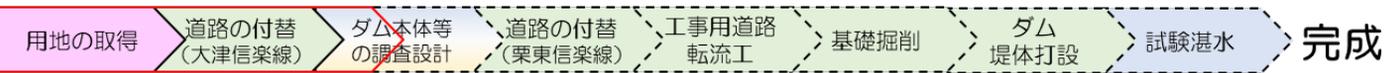
- ✓ 洪水吐は、貯水池に流入した洪水を安全に放流するための設備です。治水機能があるダムでは一般的に、常用洪水吐と非常用洪水吐という2種類の洪水吐を持っています。
- ✓ 常用洪水吐は、通常の洪水に対して使用する洪水吐で、基本的に堤体の中央~下部に設置されます。多くの場合、ゲート（水門）が設けられ、その開き具合を操作することによって下流に流す流量を調節しています。流水型ダムでは、河床付近に設けた常用洪水吐のことを河床部放流設備とも呼びます。
- ✓ 非常用洪水吐は、常用洪水吐だけでは対応できず、貯水池が溢れてしまうような異常な洪水時に、ダムを守るために使用される洪水吐で、基本的に堤頂部に設置されます。ゲートの有無はダムによって異なります。



▲常用洪水吐の例▲

▲非常用洪水吐の例▲

◆大戸川ダムが進捗状況（令和6年11月末時点）



イマココ

工事

- ✓ 工①の1つ目の調査横坑（R-1坑）では、11月8日に予定延長の70mまで到達しました。その後、坑内を観察しやすいよう、壁面を洗浄する作業などを行って現地作業を完了しました。
- ✓ R-1坑より40mほど下流側にある2つ目の調査横坑（R-2坑、予定延長60m）では、11月18日より掘削を開始し、11月末時点で15m地点まで掘り進みました。



▲工①の2つ目の調査横坑（R-2坑）の掘削開始時の様子▲

（岩盤に到達するまでは発破ではなく、ブレーカー、バックホウといった重機で掘削します。）

- ✓ 工②では、左岸の急斜面で実施する調査横坑（L-2坑）の掘削に向け、資材搬入用の索道の設置など、現地での準備作業を実施しています。また、右岸高標高部にある調査横坑（R-3坑）の掘削箇所でも、支障となる木の伐採など、準備作業を行っています。

調査

- ✓ ダムサイト右岸で地質調査を行う調⑧～⑪は、資機材を運搬するモノレールの仮設作業を実施しており、このうち調⑪では、仮設作業を終えてボーリング調査を開始しました。
- ✓ ダムサイト河床付近で地質調査を行う調⑫～⑭は、現場着手に向けて準備を進めています。

設計・検討

- ✓ ダムサイトの地質の総合的な解析を行う設⑩では、工①で掘削が完了した調査横坑（R-1坑）に入り、壁面の観察・写真撮影・スケッチを実施しました。
- ✓ これをもとに横坑内部の展開図を作成し、ボーリング調査だけでは分からないダムサイトの詳細な地質状態の分析に活用します。



◀表面の状態を触って確かめながら横坑壁面を観察



◀写真では記録できない細かな特徴もスケッチで記録

【発行】

国土交通省 近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32
TEL 077-545-5675（代表） FAX 077-543-5340
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>
X（旧 Twitter） @daidogawadam



webサイト



X（旧 Twitter）



大戸川ダム 検索

大戸川ダム